

令和8年度 通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）

教科		科目		単位数	履修上の留意点		
公民		倫理		2	公共を履修したのちに倫理を履修する		
指導 目標	(1) 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。						
	(2) 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。						
	(3) 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。						
教科書				副教材等		添削指導	面接指導
倫理(701) 東京書籍						6回	2単位時間
多様なメディアを利用した学習による 面接指導時間数の減免実施の有無			☐	実施している		多様なメディアを利用した学習 による減免後の面接指導時間数	該当なし
			☒	実施していない			
添削指導（レポート）							
回	学習内容					対応する 面接指導の回	提出期限
1	○第1編 1章 人間の心のあり方 2章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅰ 1節 哲学すること 2節 ギリシャの思想 ・人間とは何か、人間の心の働きについて正しく理解することができる。古代ギリシャ思想について理解し、活用することができる。					1	5月13日
2	○第1編 2章 3節 宗教と社会 4節 キリスト教 5節 イスラーム 6節 仏教 7節 中国の思想 8節 芸術 ・宗教とは何か、宗教がどのように生まれ、社会に影響を与えたかについて正しく理解することができる。芸術について理解し、活用することができる。					1	6月6日
3	○第1編 3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ 1節 近代と人間尊重の精神 2節 近代思想の展開 3節 人格の尊厳と人倫の思想 4節 社会変革の思想 5節 理性への疑念 ・近代の人間尊重の精神がどのように生まれ社会に影響を与えたかについて正しく理解することができる。社会変革の思想、理性への疑念について理解し、活用することができる。					1	7月4日
4	○第1編 3章6節 人間観・言語観の問いなおし7節 他者・自然とのかかわり 4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1節 日本人の精神風土 ・人間観・言語観の問い直し、他者・自然とのかかわり、日本人の精神風土について理解し、判断することができる。					2	10月21日
5	○第1編 4章 2節 仏教と日本人の思想形成 3節 儒教と日本人の思想形成 4節 国学の思想 5節 庶民の思想 6節 西洋思想と日本人の近代化 ・仏教と日本人の思想形成、儒教と日本人の思想形成、国学の思想、庶民の思想、西洋思想と日本人の近代化について理解し、判断することができる。					2	11月11日
6	○第1編 4章7節 国際社会に生きる日本人の自覚 第2編 現代の諸課題と倫理 ・国際社会に生きる日本人の自覚、生命、自然、科学技術、福祉、文化と宗教、戦争と平和について理解し、判断することができる。					2	12月5日
面接指導(スクーリング)							
回	単位時間	学習内容				実施場所	実施日
1		「人間の心のあり方」「宗教と社会」「近代と人間尊重の精神」について学習する。				各学習センター	7月
2		「人間観・言語観の問い直し」「仏教と日本人の思想形成」「国際社会に生きる日本人の自覚」について学習する。				各学習センター	12月
多様なメディアを利用した学習							
計画段階では実施予定なし							
試験							
回数	試験範囲					実施場所	実施日
1	レポート1～3					各学習センター	9月
2	レポート4～6					各学習センター	2月
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準							
添削指導、面接指導、試験の結果を総合的に評価する。							
所定の添削課題の提出、面接指導の受講、試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。							
その他							
各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。							